

事務事業名		日本ツバキ協会参画事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 02 15					
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興									
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実									
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	農林水産部 農林課									
	係 名	農政係	電話 内線	0192-27-3111 344							
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画 (期間限定複数年度のみ)					
・日本椿協会に負担金を支出する事業。 ・日本ツバキ協会は、会報の発行(年3回)、会誌「椿」の発行(年1回) 全国椿サミット:ツバキ・サザンカを指定花木とする市町村と共催で、毎年春に椿サミットを開催 本部、支部による全国各地でのツバキ展の開催 接木・挿し木の講習会やツバキにかかわる研究会、探訪旅行など ツバキに関連するグッズ、印刷物等の頒布などを行っている。 ・椿を市の花としている当市は、椿を資源とした観光行政を推進するため、日本ツバキ協会の会員となり(平成12年には、当市において第10回全国椿サミットが開催されている)、負担金を支出している。 ・市長が協会の理事となっており、椿サミット及び理事会等に出席している。						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
事業費計 (A)										0	
人件費										正規職員従事人数	
										延べ業務時間	
										人件費計 (B)	0
										トータルコスト(A) + (B)	0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
手段 (主な活動) 前年度実績 (前年度に行った主な活動) ・日本ツバキ協会に負担金を拠出する。 ・全国椿サミット三陸・大船渡大会を開催する予定だったが、東日本大震災により中止となった。 今年度計画 (今年度に計画している主な活動) ・日本ツバキ協会に負担金を拠出する。 ・椿サミットに参加する。 ・ツバキ協会理事会へ出席する。 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・日本ツバキ協会 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) ・運営が円滑に行われる。 結果 (基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・魅力がPRされ、認知度が高まる。	  	活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 全国椿サミットへの出席人数 人 イ 全国椿サミット協議会理事会への出席人数 人 ウ
		対象指標 (対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 日本ツバキ協会決算額 千円 キ 日本ツバキ協会会員 (本部・支部会員) 数 人 ク 日本ツバキ協会会員 (法人) 数 団体
		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 協会の会報、会誌の発行回数 回 シ ス

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (目標)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	単位						
			千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	10	10	10	10	10	10
		事業費計 (A)	千 円	10	10	10	10	10	10
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	3	3	3	3	3	3
		人件費計 (B)	千 円	12	12	12	12	12	12
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	22	22	22	22	22	22
活動指標	ア		人	2	2	1	3	11	0
	イ		人	0	1	1	1	6	0
	ウ								
対象指標	カ		千円	8764	8436	7509	8009	8103	7085
	キ		人	2090	2090	1725	1725	1725	1050
	ク		団体	38	38	35	35	38	32
	サ		回	4	4	4	4	4	4
成果指標	シ								
	ス								

事務事業ID	502	事務事業名	日本ツバキ協会参画事業
--------	-----	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・当市の花を椿と定めたことによる(開始年度は不明)

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・「世界の椿館・碁石」の運営や御祝椿苗木配布事業等により、椿の里というイメージが定着してきている。

・平成19年1月には、「椿の里・大船渡」のシンボルマークも定められ、椿の里のイメージがますます定着してきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ ・日本ツバキ協会やツバキを指定花木とする市町村との交流、椿に関する情報取得により、椿の里のイメージが定着し、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・大船渡の観光イメージとして、椿の里づくり推進を目的としており、目的達成のため継続の必要がある。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・対象である日本ツバキ協会に対し、負担金を納入し、協会の運営を健全なものとするのが意図の事業であることから、対象、意図とも適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・協会の運営を支えるために、継続して事業に参画する必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・椿を市の花とし、観光資源として活用を図るためには、引き続き協会への参画が必要。 ・再度全国椿サミットの会場になる可能性もあり、協会への参画は必要。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ・類似事業が無く、他の事業との統廃合はできない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・事業費は負担金のみ。 ・サミット等への出席にかかる旅費については、別事業から支出されている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・負担金納入事務とサミット等への出席にかかる人件費のみ。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・受益者負担は発生しない

事務事業ID	502	事務事業名	日本ツバキ協会参画事業
--------	-----	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・椿を資源とした観光行政推進のため、事業を継続実施が必要。 ・平成23年3月19、20日に第21回全国椿サミット三陸・大船渡大会を開催する予定だったが、東日本大震災の影響により中止となった。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・市の花「椿」の定着を図るためにも、引き続き協会事業に参画することが必要。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--